

令和5年度

県政調査千一ム活動状況報告書

令和6年3月

福井県議会 議会局

# 目 次

1	県政調査チームの概要	・・・	1
2	令和5年度の取り組み	・・・	2
3	各チームの活動状況	・・・	3
	総務教育	・・・	3
	厚生	・・・	12
	産業	・・・	19
	土木警察	・・・	27

# 令和5年度の県政調査チームの活動状況

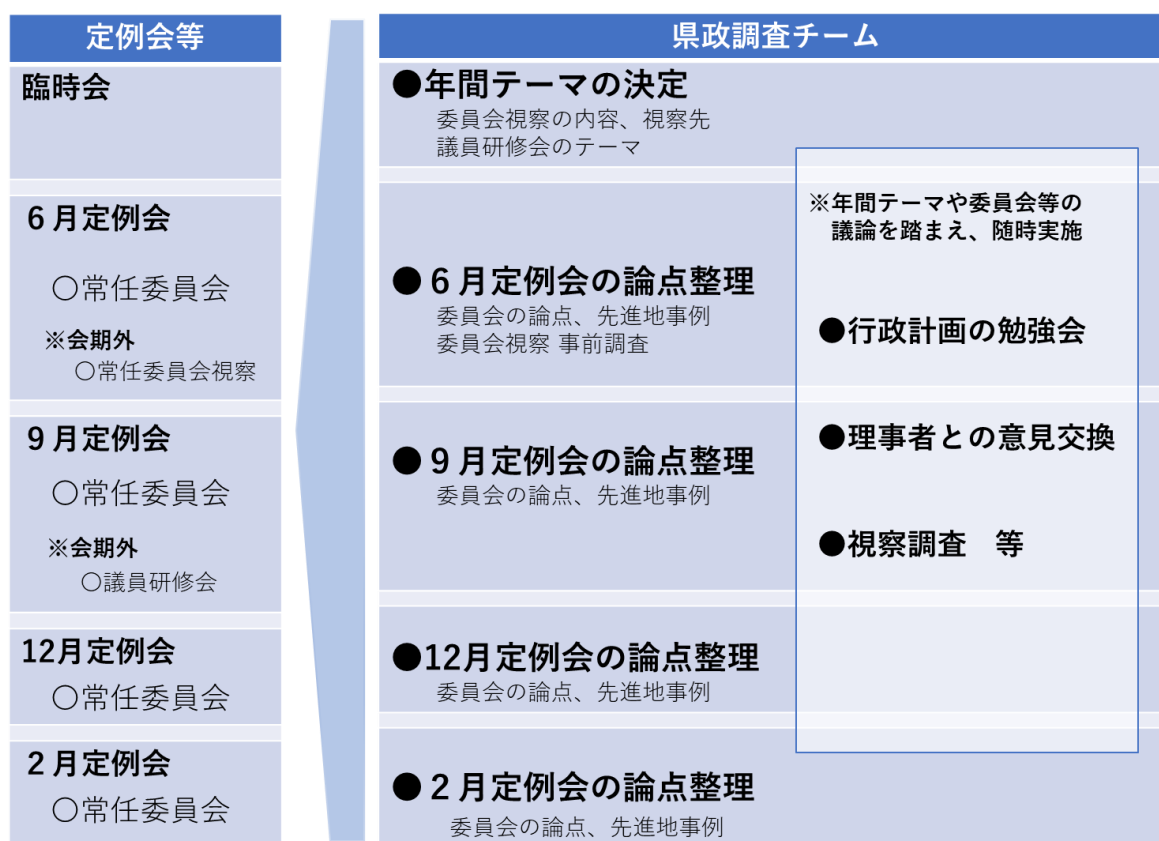
## I 県政調査チームの概要

福井県議会では、4つの常任委員会ごとに、各会派から選出された議員および議会局職員で構成する「県政調査チーム」を設置している。

この県政調査チームでは、定例会ごとに、論点となる県政課題について調査するほか、委員会で議論される行政計画の勉強会や他県の先進事例の調査、委員会視察のための事前調査等を実施している。

調査した内容については、チームに所属しない常任委員会委員とも資料を共有し、委員会審議の充実等を図っている。

### 〈県政調査チームの活動〉



## 2 令和5年度の取り組み

5月に開催された臨時会において本年度の常任委員会の委員が選任された後、同日に各チームが第1回目の会議を開催した。年間を通じて継続的に調査を行う「年間テーマ」について協議、決定した後、それらの年間テーマや本年度改定予定の行政計画等を踏まえたチームの活動方針、委員会視察の内容、議員研修会のテーマ等について協議を行った。

定例会ごとに行う論点整理では、本会議や委員会において議論される主な県政課題について、県の動向や理事者の過去の答弁のほか、他県における先進事例等を調査し、委員会における提言や質疑すべき内容を検討した。

また、年間テーマに基づき、視察調査を行ったほか、人口減少対策に関する合同勉強会(総務教育、厚生)をはじめ、建設産業の担い手確保および育成についての意見交換(土木警察)など、適時各チームが必要な調査を実施した。

こういった取り組みは、各常任委員会での議論だけでなく、各会派の代表質問や議員の一般質問における質疑や提言、さらには議員連盟等における要望活動等に活かされている。

### 〈年間テーマと主な活動〉

- 総務教育 「福井県立大学の新学部」  
「人口減少対策」  
「県立高校の魅力化」
  - ・ 8月29日 人口減少対策(自然減対策)に関する合同勉強会
  - ・ 2月16日 福井県ブランド戦略(案)に関する意見交換会
- 厚生 「原子力・エネルギー政策」
  - ・ 8月29日 人口減少対策(自然減対策)に関する合同勉強会
- 産業 「人口減少対策(社会減対策)」  
「新幹線開業、アフターコロナの観光戦略の実行」  
「経済ビジョンの推進、産総研との連携強化」  
「食のブランド発信、強化」
- 土木警察 「建設業の担い手確保および育成について」  
「安全・安心ふくいプログラム 2023~2024」
  - ・ 6月27日 電動キックボードに関する勉強会
  - ・ 8月25日 建設産業の担い手確保および育成についての意見交換

### 3 各チームの活動状況

#### 総務教育

清水智信、渡辺大輔、山浦光一郎（リーダー）、時田和一良、  
福野大輔、堀居哲郎、山岸みつる  
議会局 議事調査課（藤井、大久保、山本）

○令和5年5月10日

#### 第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

##### 〈年間テーマ〉

##### 「福井県立大学の新学部」

- ◇次世代の地域リーダーを養成する新学部の概要
- ◇有識者会議からの提言内容を踏まえた今後の方針

##### 「人口減少対策」

- ◇結婚応援のさらなる充実
- ◇過去最低の出生率を踏まえた人口減少対策の方向性
- ◇第2期ふくい創生・人口減少対策戦略の進捗と対策強化

##### 「県立高校の魅力化」

- ◇県立高校における探求学習の実践状況
- ◇県立高校の魅力化に関する取組みの更なる充実

○令和5年6月28日

## 第2回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線敦賀以西の認可・着工、不登校生に対する支援状況、行財政改革アクションプラン、部活動の地域移行等を中心に協議
- ・年間テーマである「人口減少対策」について、若者が将来に対して明るい見通しを持つために必要な対策や施策の方向性について協議

### 〈 6月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### （教育委員会）

- ・県立高校の魅力化に関し、SNSを活用した効果的な情報発信を提案
- ・部活動の地域移行に関し、クラブチームの指導者への対応について確認するとともに、これまで部活動が担ってきた役割も果たすよう提言

#### （総務部）

- ・行財政改革アクションプランの改定に関し、有識者から出された意見や改定の方針について確認
- ・技術職の職員確保の見通しについて確認
- ・県立大学の新学部設置に関する有識者会議の検討状況と今後の方針を確認

#### （未来創造部）

- ・行政の生産性向上について、行政DXの進捗状況を確認
- ・北陸新幹線敦賀以西に関し、北陸新幹線事業費推進調査に関する連絡会議における議論や関西との連携について確認するとともに、年末に向けた運動方針について論点の整理を提言
- ・地域鉄道について、新幹線開業後の重要な二次交通として市町と連携した行政支援を提言

## 〈 総務教育常任委員会 県外視察（令和5年7月25日、26日） 〉

### （佐賀県 武雄市役所）

- ・西九州新幹線開業に伴う武雄市の駅周辺のまちづくりの取組や開業イベント、開業後のまちの状況等を現地視察
- ・2010年から全国に先駆けてICT教育に取り組み、「公立学校情報化ランキング」で小学校全国1位、中学校全国2位にランクインするなど、ICTを活用して一人一人に応じた個別最適な学びを深め、すべての子どもたちの学びの質を高めている武雄市への視察を実施



（武雄市役所 駅周辺のまちづくりに関する説明の様子）

### （広島県 広島県教育委員会）

- ・不登校などの児童・生徒の支援を目的に、「スペシャルサポートルーム（SSR）」を県内の指定校に設置しているほか、不登校支援センターや2022年に新設した広島県教育支援センター「スクールS」など、先進的な取組みを行う広島県教育委員会の取組み等について視察を実施



（広島県議会 不登校対策に関する説明の様子）

○令和5年8月29日

### 第3回調査 「人口減少対策についての合同勉強会」

- ・年間テーマに基づき、厚生常任委員会の県政調査チームと合同で勉強会を実施
- ・本県における人口減少対策、特に自然減対策に関する取組み等について確認し、意見交換を実施



(福井県議会 関係課から自然減対策に関する説明の様子)



○令和5年9月8日

## 第4回調査 「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・6月定例会に続き、北陸新幹線敦賀以西の着工、福井鉄道および嶺北地域公共計画（骨子案）を中心に協議
- ・行財政改革アクションプラン、公立学校における公会計化、中教審による教員の働き方改革の提言等について協議
- ・庁内における広告収入を実施している熊本県の取組みや、成績や出欠データを一元管理している東京都教育委員会の取組みについて協議

### 〈 9月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### （教育委員会）

- ・部活動の地域移行に関して、中体連の大会にクラブチームが参加したことによる課題や解決策について確認
- ・給食費の公会計化について、県内市町の実施状況および県の果たす役割について確認
- ・県立高校の魅力化に関して、勝山の中学校統合による勝山高校のメリット・デメリットについて確認するとともに、今後の統廃合の考え方について提案

#### （総務部）

- ・行財政改革アクションプランについて、有識者会議で出された意見や要望を踏まえたうえで、目標値の設定に関して満足度調査の結果を活用するよう提案
- ・県立大学の新学部について、次世代の地域リーダーを養成するために必要な学部の規模やカリキュラム等の検討状況を確認するとともに、県外に自信をもって勧められる学部となるよう要望
- ・高校の授業料無償化に関して、無償化の対象範囲と支援の目的について確認

#### （未来創造部）

- ・北陸新幹線敦賀以西の着工に関して、事業推進調査の進捗状況について確認するとともに、駅位置・詳細ルートの早期公表を強く求めていくことを要望
- ・結婚応援支援について、AIマッチングシステムの導入効果について確認
- ・北陸新幹線敦賀開業後の二次交通について、観光客と地域住民両者の利便性が向上するような支援等について要望
- ・路線バス・地域鉄道の交通系ICカードの導入状況を確認

## 〈 総務教育常任委員会 県内視察（令和5年11月16日） 〉

### （福井県立大学）

- ・ 県内には高校生の文系進学先の受け皿が不足していることから、新学部設置が望まれるが、その一方で人口減少の問題等もあり、学部創設には十分な検討を要することから有識者会議を設置して協議している福井県立大学を視察
- ・ 新学部に関して有識者会議を設置し、教育内容や育成する人材像、企業や地域との連携などについて検討を進めており、有識者会議から提出された提言書の内容を踏まえて県立大学が策定する構想案について確認するとともに、新学部で養成する人材像や卒業後の進路、カリキュラム等について意見交換を実施



（福井県立大学での概要説明）

### （福井県立武生高等学校）

- ・ 令和2年度に探究進学科を設置した武生高等学校において、令和5年度の大学入試において、総合型・学校推薦型選抜で東京大学に1名、京都大学に1名が合格したほか、全国の高校生対象の公募展で研究成果が入賞するなどの実績を上げている福井県立武生高等学校を視察
- ・ 探究進学科の現在までの取組状況や成果、今後の課題等について確認するとともに、授業風景を見学



（福井県立武生高等学校における探究活動の結果報告）

○令和5年12月2日

## 第5回調査 「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線敦賀以西の整備に関する財源議論の早期着手、福井県立大学に提出された提言内容と構想の方向性を中心に協議
- ・行財政改革アクションプラン(骨子案)や嶺北地域公共交通計画(案)、デジタル地域通貨の方向性、県内夜間中学の設置に向けた検討状況等について協議
- ・リモート案内によって「クレマー」がゼロになった広島県の取組みについて情報提供したほか、世界で活躍する人材育成の先進事例として、福岡県教育委員会における短期留学研修プログラムについて協議

### 〈 12月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### (教育委員会)

- ・県内における探究活動の横展開および生徒らの交流拡大について提言
- ・小中学校における不登校の状況と要因分析について確認
- ・部活動の地域移行について、今後、地域移行する部活動数を確認するとともに、市町間で格差が生じないような対策を要望

#### (総務部)

- ・行財政改革アクションプランについて、的確な予算配分のために事業評価の側面を盛り込むよう提案
- ・県立大学の新学部について、キャンパス設置の考え方と検討の方向性について確認

#### (未来創造部)

- ・北陸新幹線敦賀以西について、京都府と連携および今後の方針について確認
- ・特急「はるか」の敦賀までの延伸について、JR西日本との協議状況を確認
- ・ハピラインふくいの新駅設置の検討状況について確認
- ・丹南地域定額タクシーの事業スキームについて確認

○令和6年2月16日

## 第6回調査 「福井県ブランド戦略(案)に関する意見交換会」

- ・本県におけるブランド戦略の活動方針を含め、特に県民向けのインナーブランディングに関する取組み等について確認し、意見交換を実施



(福井県議会 関係課からブランド戦略(案)に関する説明の様子)

○令和6年2月16日

## 第7回調査 「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・人口減少対策、県立大学の新学部、行財政改革アクションプランの見直し、授業料無償化にかかる所得制限撤廃の影響等について協議
- ・地域の自家用車・ドライバーの活用、県政を担う人材の確保・育成、北陸新幹線敦賀駅での乗換え利便性向上、夜間中学校の設置に向けた検討状況等について協議
- ・先進事例として、愛知県で導入している高齢者によるデジタル講師、採用前に学校現場で実習を行うことで離職率を抑える島根県教育委員会の事例について協議

### 〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### （教育委員会）

- ・夜間中学校の設置者や教員の配置基準について確認
- ・小中学校における不登校対策のこれまでの支援成果と支援員の要件を確認
- ・部活動の地域移行について、地域移行した部活動の指導者情報を県でも把握するよう要望
- ・新規採用教員について、3年以内に離職した教員数の推移を確認するとともに、業務の負担軽減措置を講じるよう要望

#### （総務部）

- ・行財政改革アクションプランについて、官民共創の具体的な取組みについて確認するとともに、各方針に紐づく施策の実効性を担保するよう要望
- ・県立大学の新学部について、国内留学制度及び長期インターンシップの詳細について確認するとともに、県外大学において福井県を意識した学びを提供するよう提案

#### （未来創造部）

- ・北陸新幹線敦賀以西について、令和7年度概算要求に向けた活動方針と意気込みについて確認
- ・北陸新幹線敦賀駅における乗換え利便性の向上に関する対策を確認
- ・県内のタクシーの不足状況及び地域の自家用車・ドライバーを活用した「日本版ライドシェア」に関する本県での検討状況について確認
- ・結婚応援支援について、縁結びさんとコーディネーターが果たす役割について確認するとともに、伴走支援に必要なスキルの向上につながる取組みを展開するよう要望

## 厚 生

小堀友廣（リーダー）、松崎雄城、三田村輝士、渡辺竜彦、中村綾菜、  
藤本一希  
議会局 議事調査課（古道、吉田昌、渡邊）

○令和5年5月10日

### 第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

- ・年間を通じて継続的な調査、研究を行うテーマについて協議
- ・決定したテーマに基づく今年度の取組を協議

〈年間テーマ〉

「原子力・エネルギー政策」

- ◇中間貯蔵施設の県外候補地確定に向けた状況
- ◇GX 実現に向けた基本方針に基づく施策の具体化
- ◇2050年カーボンニュートラル実現に向けた施策の推進

○令和5年7月4日

### 第2回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・使用済燃料の県外搬出に関する関西電力からの説明に対する受け止めと今後の対応、県環境基本計画の目標達成に向けた取組、新型コロナの5類移行後の状況と第9波を見据えた対策を中心に協議
- ・先進事例として長野県における自然エネルギーの普及モデルの構築に向けた取組み等について協議

〈6月定例会 常任委員会における主な議論〉

（防災安全部）

- ・使用済燃料の県外搬出に関する関西電力からの説明に対する県の認識および今後の対応について確認
- ・自転車の安全で適正な利用に関する条例に関し自転車損害賠償責任保険の加入状況とヘルメット着用状況について確認

(エネルギー環境部)

- ・全国と比較した本県の再生可能エネルギーの取組状況と再エネ導入促進に向けた方針について確認
- ・有機フッ素化合物による環境汚染に関し県内の状況および対応について確認

(健康福祉部)

- ・パートナーシップ宣誓制度の導入に向けた動きについて確認
- ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた計画策定の進め方について確認

〈 厚生常任委員会 県外視察（令和5年7月25日～26日） 〉

(静岡市議会 静岡県静岡市)

- ・静岡市は、地域脱炭素の実現に向け、公民連携により経済・社会・環境の三側面の好循環を生み出す、静岡市ならではの取組をリーディングプロジェクトとし、重点的に進めており、国の脱炭素先行地域にも選定されている。本県においても、長期ビジョンにおいて2050年のゼロカーボンを目指すことを掲げていることから、静岡市の取組状況や今後の進め方等について視察を実施



(静岡市にて脱炭素化に向けた取組みについて意見交換)

(大阪府庁 大阪府大阪市)

- ・大阪府は、平成30年度から働く世代（40歳以上）からのフレイル予防の取組を進め、フレイルの早期発見による保健指導等の早期介入により健康維持を図っている。本県においても、高齢者の健康維持に努めているが、さらなるフレイル対策の充実のため、大阪府独自に実施する対策の取組状況や課題等について視察を実施



(大阪府にてフレイル対策の取組みについて意見交換)

### (津波・高潮ステーション 大阪府大阪市)

- ・本施設は、大阪府が所管する津波・高潮防御施設の一元管理を行うとともに、府民の防災意識の向上を目的に、高潮に加え、南海トラフ巨大地震と津波についての正しい知識の習得とともに、地震、津波発生時の対応などを学ぶことができることから、地震・津波災害に備えた県民向けの情報発信や啓発の手法等について現地視察を実施

○令和5年8月29日

### 第3回調査 「人口減少対策に関する勉強会」

- ・本県における人口減少対策（自然減対策）について、理事者を招いての調査を県政調査チーム（総務教育）と合同で実施
- ・本県の現状と課題を共有し、今後の対策について意見交換



(人口減少対策について意見交換を行う様子)



○令和5年9月13日

## 第4回調査「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・使用済燃料の県外搬出に関する国、事業者との協議状況、核燃料サイクルに関する動向について見解、パートナーシップ宣誓制度の導入に向けた動き、感染症対策について協議
- ・年間テーマである原子力・エネルギー政策について、先進事例として、福岡県北九州市における公共施設群等への再エネ導入、最適運用に向けた取組み等について協議

### 〈 9月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### （防災安全部）

- ・使用済燃料の県外搬出計画について、国、事業者との協議状況を確認するとともに、国からの回答に対しては内容の精査と十分な議論を行うことを要請
- ・通学路の交通安全対策について、所管の普及啓発のみならず、ハード整備などを含め関係部局と連携しながら安全対策を講じるよう要請

#### （エネルギー環境部）

- ・ツキノワグマの人身被害や出没状況について確認するとともに、出没防止の観点から山の生態系を戻すといった根本的な政策について全庁的な取組を要請
- ・原子力リサイクルビジネスの進捗状況と取組推進に向けた課題について確認

#### （健康福祉部）

- ・新型コロナウイルスワクチンの接種費用負担について、無料接種終了に向けた対応を確認するとともに、市町、県民への適切な情報発信を要請
- ・パートナーシップ宣誓制度導入に向けた進捗、市町の動向、制度導入で変わるサービス内容について確認

〈 厚生常任委員会 県内視察（令和5年11月6日） 〉

（株）日本エー・エム・シー）

- ・「ふく育県」として、子育て支援施策を積極的に打ち出していることを踏まえ、先進的な取組を行っている企業を現地調査し、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組みや課題について確認



（株）日本エー・エム・シーにて子育て支援の取組等について意見交換）

（美浜町役場・美浜町レイクセンター）

- ・原子力との共生を図りながら、新たに再生可能エネルギー等の導入および利用促進を図る美浜町およびレイクセンターを現地視察し、取組内容や将来ビジョンを確認

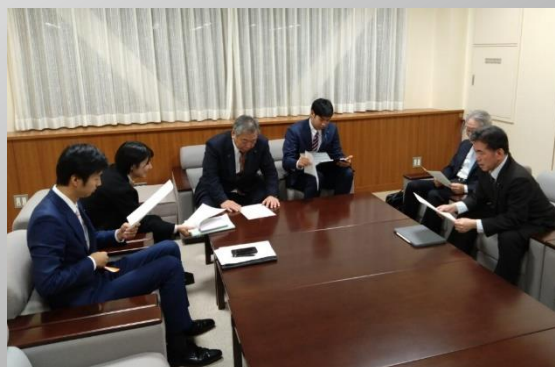


（美浜町役場、美浜町レイクセンターにてエネルギー政策について意見交換）

○令和5年12月7日

## 第5回調査「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・乾式貯蔵施設の設置検討にかかる動きと今後の対応、脱炭素化推進のための3組織での議論と取組み、クマ対策を中心に協議
- ・先進事例として、宮崎県で行われている温室効果ガスの「見える化」支援策等について協議



### 〈 12月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### (防災安全部)

- ・乾式貯蔵施設の国内での導入状況、今後関西電力から具体的な計画が示された場合の対応について確認するとともに、安全性等について検証、研究していくよう要請
- ・原子力総合防災訓練の検証と課題について確認

#### (エネルギー環境部)

- ・クマ対策について、個体数の把握方法および捕獲に関する方針について確認
- ・本県における水素活用の状況および今後のビジョン、戦略について確認

#### (健康福祉部)

- ・第9期福井県高齢者福祉・介護保険事業支援計画、第2次福井県自殺対策計画、福井県配偶者暴力被害者等および困難な問題を抱える女性支援計画、第5次元気な福井の健康づくり応援計画、第8次福井県医療計画等、福井県国民健康保険運営方針の改定内容について確認

○令和6年2月22日

## 第6回調査「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・乾式貯蔵施設の設置に向けた事前了解願いへの対応、能登半島地震での経験を踏まえた対応、第8次医療計画など改定予定の各種計画の実現に向けた取組みを中心に協議
- ・先進事例として、東京都杉並区で試験導入されている路面太陽光発電を紹介するとともに、埼玉県で行われている障がい者がロボット利用で遠隔就労している取組み等について協議

### 〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### (防災安全部)

- ・乾式貯蔵施設の設置に向けた事前了解願いの対応として、他の電力会社における乾式貯蔵施設の保管年限の取扱いや、永久保管場所となることへの懸念に対する搬出時期の確認作業、了承判断の方法、貯蔵容量を原則増やさないことの例外の取扱いなどについて確認
- ・能登半島地震での知見を踏まえた防災計画等の見直しのポイントを確認するとともに、今回のような津波警報による避難指示でも円滑に避難ができるよう計画を周知徹底するよう提言
- ・災害対応としての自衛隊派遣に関し、地震と大雪など別地域での同時災害発生時の支援体制について確認

#### (エネルギー環境部)

- ・能登半島地震による災害ごみの受入体制について確認
- ・あわら市沖の洋上風力事業に関し、関係者との意見交換会の内容を確認
- ・次期エネルギー基本計画への県の働きかけを確認するとともに、県としてのエネルギーミックスのビジョンを確認

#### (健康福祉部)

- ・医療・介護・福祉人材に関し、人口減少、高齢化の中での人材確保の方針と対策について確認
- ・ふく育さん、ふく育タクシー、男性育休促進事業等の子育て支援策について、人口減少対策としての効果検証も行いながら実施するよう提言
- ・保育士確保に向けた処遇改善としての加算制度について、事務負担の軽減などの観点から制度見直しを国に要請するよう提言

## 産 業

田中三津彦（リーダー）、野田哲生、兼井大、南川直人、大和久米登、  
齊木 武志  
議会局 議事調査課（古道、福岡、荒木）

○令和5年5月10日

### 第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

#### 〈年間テーマ〉

##### 「人口減少対策（社会減対策）」

- ◇関係人口増大に向けた取組、就労支援、奨学金返還支援の拡充
- ◇他自治体との差別化、優位性に関する情報発信

##### 「新幹線開業、アフターコロナの観光戦略の実行」

- ◇新幹線沿線自治体および旅行会社へのプロモーション、一過性に終わらせない取組
- ◇インバウンド需要への対応

##### 「経済ビジョンの推進、産総研との連携強化」

- ◇ウェルビーイングの向上、企業支援、物価高騰対策等
- ◇県内企業、地場産業と産総研との連携、研究体制の構築

##### 「食のブランド発信、強化」

- ◇いちほまれブランド戦略に基づく販促施策の実施
- ◇そば、魚類をはじめとする福井の食材の知名度向上、ブランド確立

○令和5年6月28日

## 第2回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線開業対策、人口減少対策、経済ビジョンの推進、物価高対策等について協議
- ・先進事例として、石川県の文化観光の振興にテーマを絞ったファンドの取組について協議

### 〈 6月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### （交流文化部）

- ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館周辺の交通について、パークアンドバスライドの推進方針を確認
- ・新幹線開業に向けた機運醸成について、効果のある形での取組を確認。福井の本物を知っていただいた上で、福井に滞在し県内を周遊するような取組を要望

#### （産業労働部）

- ・北陸新幹線開業や中部縦貫自動車道開通等による市場拡大のチャンスを産業振興にどう生かすか確認するとともに、産業技術総合研究所の活用等を提言
- ・伝統的技能の継承について、後継者不足の解消方法について確認

#### （農林水産部）

- ・鳥獣害対策用のネットや電気柵、恒久柵などの設置費用について、補助対象とするよう国に求めることを提言

〈 産業常任委員会 県外視察（令和5年7月25日～26日） 〉

（埼玉県 （一社）埼玉県物産観光協会・JR東日本大宮支社地域共創部）

- ・埼玉県物産観光協会が取り組む、東京、大阪を目的に長期滞在する訪日外国人観光客リピーターをターゲットとしたインバウンド需要の取込みやブランド発信のための新商品アワードの開催など、地域や事業者と連携した観光振興策、物産販売促進等について意見交換
- ・JR東日本大宮支社が取り組む、鉄道を切り口とした大宮駅でのイベント開催、観光PRについて調査



（（一社）埼玉県物産観光協会 物産販売促進等について意見交換）

（東京都 ふくい南青山291）

- ・都内アンテナショップの状況について、売れ行きが好調な商品の価格帯や飲食スペースでの人気メニュー、商品開発の方法等について調査
- ・施設内の現地調査



（東京都 ふくい南青山291の調査）

## (長野県庁)

- ・平成27年の北陸新幹線金沢延伸後の長野県における観光客の動向や観光素材のPRの状況や北陸新幹線福井・敦賀開業により今後の集客増が期待できる関西圏におけるPRのほか、沿線自治体との連携による旅行商品の造成方法などについて意見交換
- ・長野県は、「暮らしてよかった県No.1」をコンセプトに移住・定住施策に取り組み、移住者希望ランキングで常に上位に位置している。移住者の動向や移住相談の状況等について調査を実施



(長野県庁 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた取組について意見交換)

○令和5年9月14日

### 第3回調査 「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線開業対策、経済ビジョンの推進、物価高対策、西武福井店の存続等について協議
- ・先進事例として、静岡県の潜在的なU・Iターン層とのつながりを維持するとともに、故郷が忘れ去られない取組について協議

#### 〈 9月定例会 常任委員会における主な議論 〉

##### (交流文化部)

- ・観光バス等の二次交通について、はぴバス、ループバスの事業内容を確認
- ・北陸3県のSNSキャンペーンについて、インバウンド需要等も考慮し、英語での発信を提言
- ・ふくい桜マラソンの県外の申込者数、県内の宿泊施設、前日受付の対応を確認

##### (産業労働部)

- ・西武福井店の状況を確認するとともに、存続について要望
- ・円安の状況を活かした福井の産業の海外への販路開拓について確認



(農林水産部)

- ・今夏の猛暑による県産米への影響について確認
- ・「Fukui Forest Design」の取組を確認

## 〈 産業常任委員会県内視察（令和5年11月2日） 〉

(坂井市 北陸デジタルものづくりセンター)

- ・産業技術総合研究所の全国12番目の拠点となる「北陸デジタルモノづくりセンター」の現地視察を実施
- ・県内企業が繊維産業において優れた技術を持つ特定がある中で、高機能性衣類やウェアラブルデバイス(身に着けられる端末)の開発に取り組んでいることなど、北陸デジタルものづくりセンターの特徴と取組むテーマの概要、県・地元企業との連携について意見交換



(北陸デジタルものづくりセンターの設備を視察)

(勝山市 福井県立恐竜博物館)

- ・7月のリニューアルオープン後の集客状況や年間140万人を目標に掲げる中で、新しい層の集客に向けた課題と今後の対応について調査



(リニューアル後の施設の視察)

### (勝山市 勝山淡水漁業生産組合 (あまごの宿))

- ・令和4年8月豪雨により被災した「勝山淡水漁業生産組合」の当時の被災状況や復旧の現状について現地視察を実施
- ・被災時に土砂が流れ込んで養殖池に水が入らなくなっていたアマゴの養殖のサイクルを元に戻すための取り組みやふくいサーモンの増産による経営の安定化などについて意見交換



(被災した養殖場の復旧状況の視察)

○令和5年12月1日

## 第4回調査 「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線開業対策、産総研との連携強化、文化振興プラン、第4次ふくいの食育・地産地消計画等について協議
- ・先進事例として、青森県におけるキャンピングカーを活用した宿泊施設不足対策について協議

### 〈12月定例会 常任委員会における主な議論〉

#### （交流文化部）

- ・文化振興プラン策定を踏まえ、地域固有の文化を培うための行政の支援方針を確認するとともに、地域の文化を途絶えさせないよう、主催者に寄り添った対応を要望

#### （産業労働部）

- ・福井ベンチャーピッチに幅広い方が参加できるよう要望
- ・外国人材の呼び込み強化について、ミャンマー連邦共和国に拠点を持つ法人と連携協定を結んだ経緯を確認

#### （農林水産部）

- ・第4次ふくいの食育・地産地消計画策定について、学校給食が自校式からセンター方式に移行していること等を踏まえ、給食における地産地消の推進を図るための方針を確認

○令和6年2月16日

## 第5回調査 「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・北陸新幹線開業対策、能登半島地震対応、物価高対策、アリーナ構想、人手不足対策等について協議
- ・先進事例として、山形県のアグリワーケーションの推進に関する取組について協議

### 〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### （交流文化部）

- ・アリーナ整備について、経済界から国、県、市町に対し、公費による支援要望があったことに対する県の考え方および今後のスケジュールについて確認

#### （産業労働部）

- ・県民衛星「すいせん」のデータ活用について確認するとともに、衛星データの利用に関し県内企業が安価で利用できるよう要望
- ・人手不足対策として事業者が行う機械化・省力化に対する支援の内容を確認

#### （農林水産部）

- ・儲かる林業の実現に向け、輸送の効率化を図るための林道と接続する農道の拡幅等に関する支援を要望

## 土木警察

細川かをり、西本恵一、北川博規、笹原修之、山本建（リーダー）、森嘉治、酒井秀和

議会局 議事調査課（藤井、櫻川、吉田(志)）

○令和5年5月10日

### 第1回調査 「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

〈年間テーマ〉

「建設産業の担い手確保および育成について」

◇建設業における人材確保・育成の課題、今後の展望

◇建設業における働き方改革の状況、課題

「安全・安心ふくいプログラム2023-2024」について」

◇安全で安心して暮らせる福井の実現に向けての現状、課題等

◇プログラムに基づく取組内容等

〈土木警察常任委員会 県内視察（令和5年6月9日）〉

（令和4年8月大雨災害の復旧現場（南越前町今庄地区））

- ・災害発生地の復旧状況や復旧に向けた課題等について確認し、今後の土木政策に係る審議充実のため現地調査を実施



（南越前町令和4年8月大雨災害の復旧現場 復旧現場の状況等の確認）

## (吉野瀬川ダム)

- ・令和7年度の完成を目指し、建設を進めている吉野瀬川ダムの、工事の進捗状況を確認するとともに、2024年問題が工事に与える影響等について意見交換



(吉野瀬川ダム 工事の進捗状況等の調査)

○令和5年6月27日

### 第2回調査 「電動キックボードに関する勉強会」

- ・道路交通法の一部改正を踏まえた、電動キックボードの現状や法改正後の問題点等について、講師を招いた勉強会を実施
- ・電動キックボードの特性や可能性、法改正後の問題点等について調査するとともに、課題等について意見交換

○令和5年7月4日

### 第3回調査 「6月定例会常任委員会の論点整理」

- ・大型公共事業の事業費増嵩、ブロック塀対策、令和4年8月大雨災害の復旧、電動キックボードの一部免許不要化への対応、高齢者の運転免許返納への対応、猟銃安全所持に係る安全確保策等について協議
- ・先進事例として、警視庁および神奈川県横須賀市における特殊詐欺対策の取組について協議

#### 〈 6月定例会 常任委員会における主な議論 〉

##### (警察本部)

- ・防犯カメラの設置効果や予算、電動キックボードの一部免許不要化への対応、猟銃所持に関する安全確保等について確認
- ・闇バイトに対する対応について提言

##### (土木部)

- ・県内大型公共事業の事業費増嵩、工期延伸の状況について確認し、県負担の減に向け提言
- ・敦賀港の整備、建設産業の働き方改革、県道の照明のLED化、空き家対策等について確認

#### 〈 土木警察常任委員会 県外視察（令和5年8月22日、23日） 〉

##### (石川県 加賀建設株式会社)

- ・令和4年度に、国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会が創設した、建設人材育成優良企業表彰の第1回建設人材育成優良企業（不動産・建設経済局長賞）に選ばれた、加賀建設株式会社において、働き方改革の促進や魅力ある職場環境の整備などの取組について現地調査を実施



(加賀建設株式会社 建設産業の担い手確保等の取組について意見交換)

### (石川県 石川県警察本部)

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業を見据え、先行して開業している石川県の治安維持や交通安全確保に向けた取組、課題等について現地調査を実施

### (新潟県 新潟港)

- ・新潟港は、令和4年度から、新潟港 CNP 形成協議会を開催し、県内港における CNP 形成計画の策定に向けた検討を進めている。また、令和5年4月には、基地港湾に指定された。本県でも今年度、敦賀港港湾脱炭素化推進計画を策定予定であること、また、あわら市沖で洋上風力発電の事業化が検討されていることから、先行県である新潟県の取組や今後の展開について現地調査を実施



(新潟港 CNP 形成計画の策定に向けた検討、基地港湾指定までの取組等について調査)

○令和5年8月25日

### 第4回調査 「建設産業の担い手確保および育成についての意見交換」

- ・建設業における人材確保等について、(一社)福井県建設業協会建設青年委員会と意見交換を実施
- ・建設青年委員会が行う人材確保の取組や建設現場の状況を確認するとともに、人材確保の課題等について意見交換



(建設人材の確保等について意見交換)



○令和5年9月13日

## 第5回調査「9月定例会常任委員会の論点整理」

- ・建設産業の担い手確保および育成、基地港湾の整備、自転車の安全利用、特殊詐欺・サイバー犯罪対策および県内の治安情勢等について協議
- ・先進事例として、石川県建設業協会における建設産業の担い手確保、愛知県警における自転車盗難対策の取組について協議

### 〈9月定例会 常任委員会における主な議論〉

#### (警察本部)

- ・自転車盗の被害状況について確認し、自転車盗がゲートウェイ犯罪と呼ばれていることなどから、教育委員会との連携について提言
- ・特殊詐欺の被害防止に向けた対応、交通事故対策における高齢運転者の免許自主返納に向けた取組について確認

#### (土木部)

- ・入札制度について、地域の防災力を維持するための観点を持った制度の見直しについて提言
- ・令和4年8月大雨災害の復旧状況、足羽川ダムの事業費等監理の見通し、福井空港の利活用および機能強化について確認
- ・福井空港の利活用および機能強化について確認し、場外離着陸場の整備スケジュール等について確認

○令和5年12月7日

## 第6回調査「12月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・大雪対策、建設産業の担い手確保および育成、道路交通法施行規則改正に伴う飲酒検査義務化への対応、交通安全対策等について協議
- ・先進事例として、OKUTAKE GROUPにおける働き方改革の取組、滋賀県警における大阪大学社会経済研究所と提携したニセ電話詐欺対策の取組内容について協議



### 〈 12月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### (警察本部)

- ・敦賀市の横断歩道で発生した交通事故を受け、信号機や道路標識の設置、子ども達に対する交通安全教育の実施などについて要望
- ・大麻類似成分が含まれる製品の県内での販売状況や訪日外国人からの相談への対応、可搬式速度違反自動取締り装置の活用等について確認

#### (土木部)

- ・除雪体制等、今冬の雪対策について確認し、車両滞留時の電気自動車等の立ち往生対策について提言
- ・建設産業カレッジの今後の実施方法や敦賀港への消防艇の配備、都市計画マスタープランの改定状況、福井空港の場外離着陸場の状況について確認し、県民への空港の取組のさらなる周知を要望

○令和6年2月22日

## 第7回調査「2月定例会 常任委員会の論点整理」

- ・木造住宅等の耐震化対策、道路啓開計画の策定、福井空港の大規模災害時の機能強化に向けた取組等、令和6年能登半島地震を受けた対応や大雪への対策、北陸新幹線福井・敦賀開業による交流人口の増加を見据えた県内の治安維持に向けた取組、全国的に横行している詐欺等への対策について協議
- ・先進事例として、東京都の木造住宅の耐震化に向けた取組、県内で初めて「建設人材育成優良企業」表彰を受賞した県内企業の取組について協議

### 〈 2月定例会 常任委員会における主な議論 〉

#### （警察本部）

- ・信号機の新設箇所決定の考え方等を確認し、横断歩道での一時停止率の向上に向け、交通指導取締りの強化や教育現場との連携を提言
- ・防犯アプリ「ふくいポリス」の運用状況や普及に向けた広報の取組、北陸新幹線福井・敦賀開業を見据えた県内の治安向上に向けた施策等について確認

#### （土木部）

- ・令和6年能登地震を受け、県内住宅や、緊急輸送道路沿線建物の耐震化の状況について確認。また、災害時に速やかにドローンを活用できるよう、事前に災害協定を締結することや福井空港への災害用資器材の備蓄について提言
- ・大雪対策について、他県の事例等を参考にすることの必要性や、予防的通行止めありきではなく、交通が遮断されない方法も検討するよう要望